

大月町

議会だより

100_号
3月定例会



100号 大月町議会だより

も く じ

- P 4 3月定例会
 - P 4 予算概要
 - P 6 予算の主な使い道
 - P 8 条例・契約・人事
 - P 9 財産・陳情
 - P 9 補正予算
 - P 10 予算審査
 - P 12 一般質問
- P 19 議会だより100号
によせて
- P 20 こんにちは

新しい園舎で保育開始 おおつき保育所



表紙写真によせて



遊具で遊ぶ子どもたち
よく遊び！
たくましく育て！

令和2年4月6日開所



新しい園舎



園庭で遊ぶ子どもたち



交通の利便性

定例会の概要

令和2年3月第1回大月町議会定例会は3月12日から19日までの会期で開催され、当初予算9件、補正予算8件、陳情1件、条例9件、契約2件、規約3件、財産案件3件、人事案件1件の計36件が提出され、陳情1件を除く35議案が承認・可決、陳情1件は賛成少数で否決されました。一般質問は6名が登壇し執行部をただしました。

当初予算の特徴

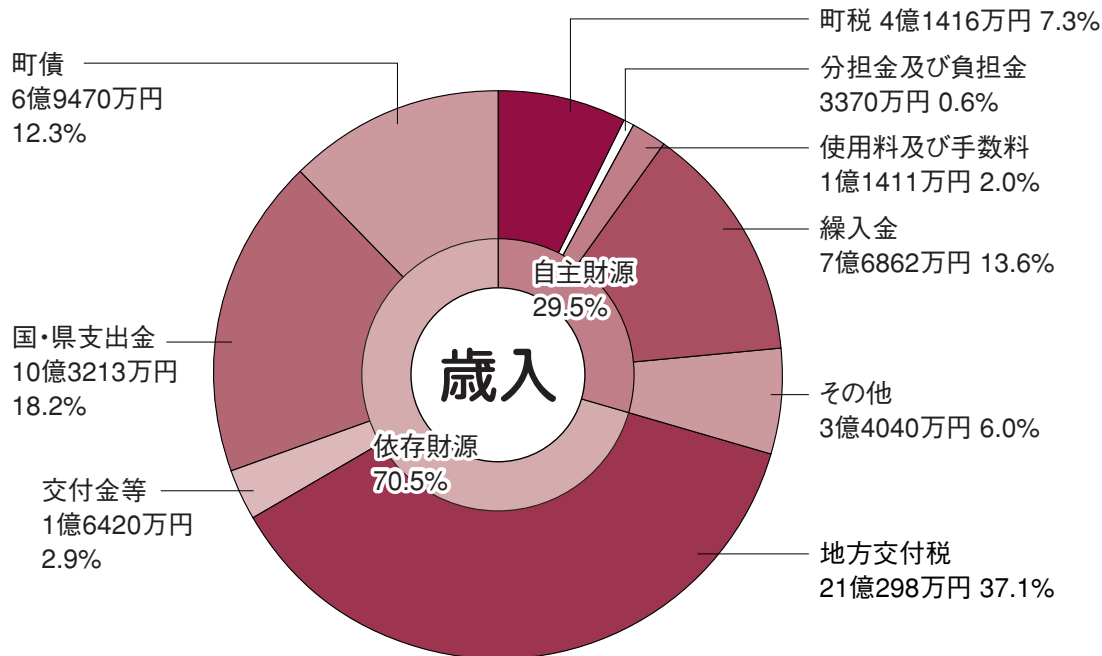
町民の安心・安全のため「緊急自然災害防止対策事業」として泊浦川の河川改修工事の令和2年度早期着工への取り組み。

生活環境の安定を目的とした若者世代向きの町営住宅の建築や「大月町地域公共交通網形成計画」に基づく地域公共交通の実証運行を計画（町民の日常生活を支える移動手段を確保する新たな取り組み）。

また、畜産競争強化施策として農業と連携した養鶏増産に取り組み雇用の創出を図る。

一般会計

入るお金

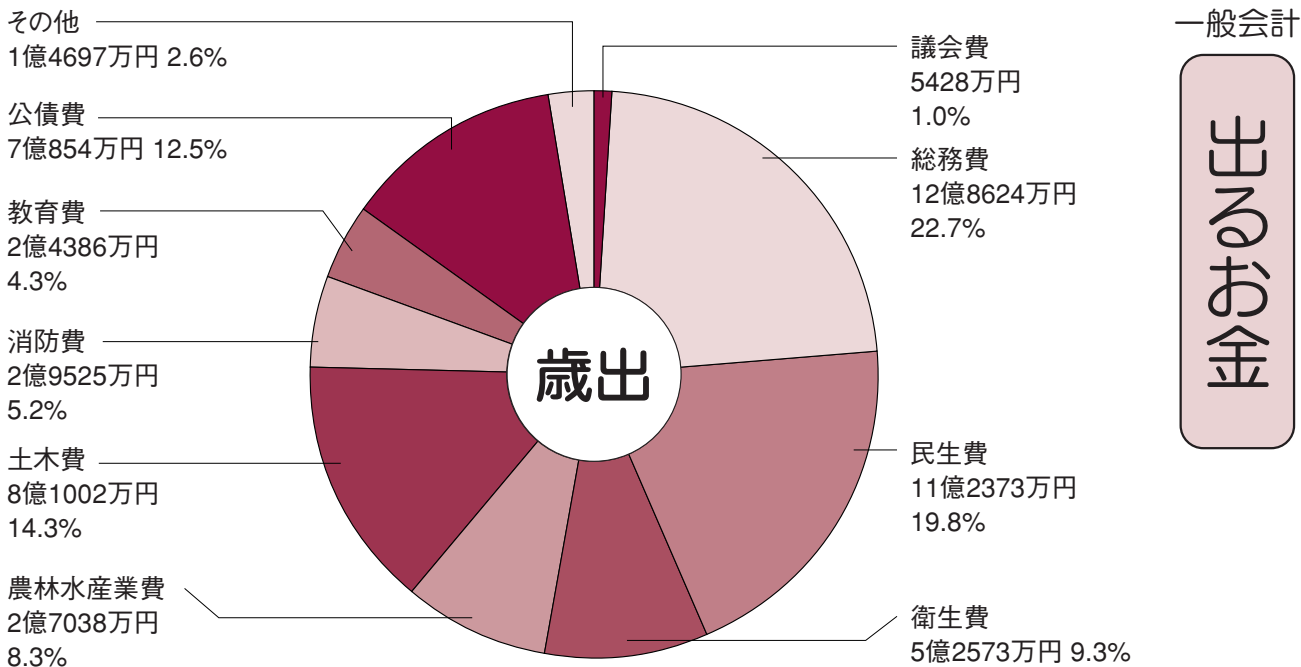


- 町 税：町民税、固定資産税など町民が納める税金です。
- 繰 入 金：町の貯金を下ろして財源に充てるお金です。
- 町 債：町の事業を行うために借りるお金です。
- 国・県支出金：特定の事業を行うために国や県から配分されるお金です。
- 交 付 金：消費税、ガソリン税などから地方へ配分されるお金です。
- 地方交付税：公共団体の公平性を保つため、国から地方へ配分されるお金です。

町営住宅建設・

令和2年度予算

会 計 名		令和2年度	令和元年度	比 較	伸 率
一 般 会 計		56億6500万円	56億9400万円	△2900万円	△0.5%
特 別 会 計	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	3億7026万円	3億5210万円	1816万円	5.2%
	国 民 健 康 保 険	8億1431万円	9億983万円	△9552万円	△10.5%
	水 道	3億9796万円	2億3938万円	1億5858万円	66.2%
	介 護 保 険	8億2281万円	8億1569万円	712万円	0.9%
	漁 業 集 落 排 水 処 理 事 業	1006万円	1471万円	△465万円	△31.6%
	後 期 高 齢 者 医 療	9675万円	9551万円	124万円	1.3%
病 院 事 業 会 計		5億6217万円	5億4077万円	2140万円	4.0%
会 計 間 重 複 額		△6億1252万円	△5億7157万円	△4095万円	7.4%
総 額		81億2680万円	80億9042万円	3638万円	0.4%



総 務 費：管理、企画、地域振興、ふるさと創生などに使われます。

民 生 費：障害者支援、老人福祉、児童福祉などに使われます。

衛 生 費：健康づくり、環境衛生、塵芥処理などに使われます。

農林水産業費：農林水産業の振興に使われます。

土 木 費：道路、橋、河川の改修などに使われます。

教 育 費：小学校、中学校、社会教育などに使われます。

新年度予算の主な使い道

若者世代の住宅、町民の足確保へ

弘見団地建設へ

新築工事費 2億4200万円
管理委託料 550万円

安心して子育てができる住宅の確保を目指し、弘見の中心部に地域優良賃貸住宅の建築（鉄筋コンクリート、2階建て、1棟6戸）を計画し若い子育て世代が入居することから、プライバシーの確保が容易で居住性を重視した階段室型3LDKでオール電化、ネット環境を備えた住宅を整備。



住宅建設予定地



ふれあいパーク バス停

町民の交通の利便性を

地域公共交通

実証運行 531万円
車両購入費 858万円（2台）

町民の通院、買い物、通勤、通学などの日常生活を支える移動手段を確保する新たな取り組みとして、令和2年11月から令和3年2月まで実証運転を計画。

①まちバス：大月病院・ふれあいパーク・役場・弘見中心部・弘見地域の一部を周遊するバスの運行。



「さようなら、またあした」

②移動の要望に対応するバス（デマンドバス）運行を西泊線を基本にして検討中（地区の皆様要望に答える仕組み作り）。

おおつき保育所通園バス運行

通園バス委託料 1000万円
児童送迎安全管理委託料 305万円

おおつき保育所通園バス3路線確保
月灘線、平山・古満目線、柏島線
各バスには安全管理のため添乗員が一名ずつ乗務する。

集落営農支援

集落営農支援事業補助金

1188万円

経営安定化、スマート農業を目的とし、農事組合法人「ファーム森の里」にドローン、コンバイン、乾燥機を整備。



導入予定のドローン

畜産競争力強化

事業補助金 1億8715万円

(全額県補助金)

株式会社ヤマニファームの鶏舎3棟・堆肥舎1棟を整備し150万羽に拡大、畜産環境の保全及び良質堆肥の生産、連携した地域農業の活性化と雇用の創出を図る。

古満目漁港・燃油施設

種子島周辺漁業対策事業費補助金

5120万円

(国・町が3840万円補助)

令和3年3月までに燃油施設を整備予定。

施設規模 軽油24kl・重油6klの

二重構造タンク

油送車両

タンクローリー

1台(4kl仕様)

大月町6漁港施設点検

町管理漁港個別施設計画策定事業

3250万円

龍ヶ迫、周防形、檜ノ浦、西泊、大浦、小才角の6漁港の防波堤などの施設老朽化点検を実施。点検後、保全・改修を検討。



点検予定の小才角漁港

平山線・月灘海岸線の改修

防災・安全交付金事業

9710万円

平山線の橋及び月灘海岸線の檜ノ浦の土砂崩れ箇所の修復・改修工事实施。



改修される平山線



月灘海岸線の修復箇所

条例等

条例

(全員賛成)

◇廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

【内容】消費税の引き上げや、働き方改革による人件費の高騰などによる廃棄物処理費用の額に伴う一般廃棄物用ゴミ袋手数料の改定。

袋大50 ↓ 60円
袋小30 ↓ 40円



新しくなったゴミ袋
(大・小)

◇保育所設置条例の一部改正

【内容】大月町立おおつき保育所を追
加し、既存保育
所を削除。



新築のおおつき保育所

◇職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正

【内容】会計年度任用職員の宣誓規定の改正。

◇大月町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

【内容】地域医療支援手当の追加。

◇地方自治法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

【内容】条文追加による条文番号の変更。

◇固定資産評価審査委員会条例の一部改正

【内容】条文の文言の一部変更及び条文追加による条文番号の変更。

◇家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

【内容】家庭的保育事業等における代替保育及び食事提供の特例の規定を改正。

◇地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の制定

【内容】介護保険法に基づき条例を新設。

◇総合振興計画条例の制定

【内容】総合的・計画的な町政の運営を図るため必要な事項を定めた条例を新設。

契約

(全員賛成)

◇町道一切安満地海岸線道路災害復旧工事請負契約の締結

【契約金額】5797万円

【契約の相手】久米建設株式会社

【契約期間】契約発効の日から
令和2年3月31日まで

◇町道一切安満地海岸線道路災害復旧工事請負契約の変更

【契約の相手】久米建設株式会社

【変更後工期】令和2年3月14日から
令和3年1月27日まで

【変更理由】適正な工期を確保するため、
302日の延長。

人事案件

(全員賛成)

大月町教育委員会委員



かしはら

京子氏(小才角)

任期 令和2年4月1日

より4年

財産譲渡

(全員賛成)

◇財産の無償譲渡について

無償譲渡する財産

名称 旧大月町水産種苗センター

所在地 大月町古満目字古満目向330番7

内容 土地 1299・56㎡

建物 管理棟 鉄筋2階 308・00㎡

種苗棟 鉄筋平屋 658・75㎡

機械棟 鉄筋平屋 70・00㎡

工作物一式

備品一式

相手方 高知市神田2098番2

株式会社山崎技研

目的 企業の定着、施設の目的継承、有望

種苗生産、雇用促進など漁業振興及び

地域活力の向上を目指す。

又、建物及び設備等の老朽化が進み改

修を要する状態であるため当施設を譲

渡することにより譲渡先が自費で改修

することが可能になる。

条件 種苗生産事業以外の目的での使用禁

止。また、事業撤退の場合は無償譲渡

した物件の無償返還。

陳情

(賛成少数)

により否決)

◇全国学力調査に関する意見書の提出を求める

陳情

【内容】 学力調査を全員参加式から抽出式に改め

る。

反対討論

安原・久米・山本

この学力調査は教育の機会均等、水準の維持・

向上を目的とし、児童・生徒の学力を把握・分

析し、教育施策の成果と課題を検証して、指導

や改善に当てるものである。そのためにも調査

の精度や平等性の観点から全員参加方式で実施

すべきである。

賛成討論

浦木

世界的な学力調査も全て抽出式で実施し、ど

こに問題があるか分析している。

調査のための学力テストはテスト漬の毎日にな

り学力低下の子どもたちが置き去りにされて

いる現状がある。故に、抽出方式で実施すべき

と考える。

賛成 浦木秀雄

補正予算

一般会計歳出予算の主なものは次の通り。

◇大月町情報通信施設管理委託料 800万円

◇大月町生活交通バス路線維持費補助金 721万円

◇公立学校情報通信ネットワーク環境整備事業

委託料

大月小学校 2057万円

大月中学校 1943万円

◇公立学校情報機器整備事業備品購入費

大月小学校 499万円

大月中学校 499万円

令和2年3月補正予算

会計名		補正額	総額
一般会計		△2億1921万円	59億83万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△1477万円	3億3648万円
	国民健康保険	△4194万円	8億6882万円
	水道	△1184万円	2億3191万円
	介護保険	△1092万円	8億3221万円
	後期高齢者医療	△275万円	9546万円
給与等集中処理		1862万円	9億9797万円
病院事業会計		△260万円	5億2015万円

新年度予算審査

まちづくり

山本 自然体験観光宿泊施設造成工事設計・管理委託料150万円及び同看板製作・設置料290万円の内容は。

答 エコロジーキャンプ場のキャンプサイトの設計料とエコロジーキャンプ場までの既存の看板取り換え設置費用です。

中平 ふるさと納税積立基金から2億5880万円取り崩しの目的は。

答 ふるさと納税返礼品と公共交通実証運行委託料・車両費で1億9190万円、その他の町有施設解体費1100万円、集落営農支援520万円、町管理漁港施設3250万円、エコロジーキャンプ場造成費590万円、総合グラウンド防球フェンス890万円などです。



新しくなった看板

安岡 関係人口創出事業委託料300万円はどのような内容か、また、その効果は。

答 地域と関わりがある人(町内出身者など)を基に繋がりのある人を増やすために、昨年

11月30日に大阪市内でイベントを開催(リトルオツキンオオサカ)し大月の魅力を発信しました。継続して実施しなければ効果が上がらないので今年も予算計上しました。



広めよう大月(リトルオツキンオオサカ)



みんなで大月の郷土料理

野村 まちづくり総合支援事業助成費・地域エコノミーの1組織50万円の事業完了は確認されているか。

答 成果が上がっていないので補助を打ち切った例もありますが、審査は11月に中間報告、年度末の3月には次年度の事業計画で審査し継続するかを判断しています。

全員協議会

産業振興

浦木 株式会社ヤマニファームの鶏の増産整備（畜産競争力強化整備事業補助金1億8715万円）により、し尿処理などに薬品を使用した場合の地域への環境問題は発生しないか。現状は問題ないようだが規模を拡大することによる影響は。

【答】 小才角川下流の地区と平成29年に唐岩地区で飼える鶏は25万羽以内にする協定を締結しています。今回増やしても25万羽を超えることはありません。また、協定の締結当時に地区役員さんたちがヤマニファームの鶏舎の管理に特に問題はないと判断したと聞いております。



規模拡大の鶏舎

高野 有望品目産地化推進事業150万円、昨年はオリーブの有望品目産地化を推進していたが新規の有望品目があるのか。

【答】 この事業は3年間続けることが出来ます。オリーブの会にも新規に植える場合は年に50万円を補助します。他に、11名で構成するグリーンパイヤ生産組

合があります。この組合も3年間の継続が出来ます。手続きとして、規約のある組合や団体からの申請により審査することになります。また、オリーブの会などが加工分野に進出しようとした時は、加工分野として補助の対象になります。



グリーンパイヤを有望品目に

浦木 緊急自然災害防止事業2億円の事業内容はどういうようになってるか。

【答】 泊浦川の改修です。泊浦川橋を下流として弘見方面の上流約400mまでを改修する予定です。泊浦川橋付近の下流約100mを浚渫（しゅんせつ）することにより河川幅は確保され、平成30年7月豪

防災事業

雨クラスの雨量に耐えられると判断しました。5月末までに設計を完了し、完成は今年度末までを目標としています。

泊浦川の改修です。泊浦川橋を下流として弘見方面の上流約400mまでを改修する予定です。泊浦川橋付近の下流約100mを浚渫（しゅんせつ）することにより河川幅は確保され、平成30年7月豪



改修される泊浦川



弘見の街を見おろす、ふれあいパークのモニュメント

一 般 質 問

浦木秀雄 議員 (P 13)

- ・まちづくりの基本事項
- ・変形労働時間制

高野真司 議員 (P 14)

- ・おおつき保育所
- ・新型コロナウイルス対策

久米里志 議員 (P 15)

- ・認知症対策
- ・誘導灯

野村満久 議員 (P 16)

- ・職場環境
- ・ホームページの位置づけ

中平順三 議員 (P 17)

- ・町長の政治姿勢
- ・大月病院の医師不足
- ・ふるさと納税の使い道

安原明彦 議員 (P 18)

- ・情報教育
- ・防災行動

3月定例会の傍聴者は
7名でした。

次回定例会は**6月**の予定です。

傍聴のお問い合わせは

議会事務局までお願いします。

(電話：0880-73-1682)



浦木 秀雄 議員

まちづくりの基本事項

都市機能を弘見の中心部に

ふれあいパークは本町の核／町長

問 大月町の歴史の一覧表を作った。そこから見えてくるまちづくり基本事項の提案をする。①政策を提言できる人材育成。②大月町の特性を生かした産業化。今ある企業の育成、起業したい人の支援で働く場を作る。③都市機能を弘見の中心部に集中させ、利便性を高め、活性化を図る。④弘見中心部の交通手段を確保する。⑤子どもたちを切れ目なく支援する制度を構築する。

岡田町長 ①大月町の現状を理解して、国や県の制度、先進地の事例の情報収集を行いながら事業を提案できる人材育成を進めていかなければならないと考えています。②雇用の創出は長年の懸案でありながら、具体的な方向性が示されないような現状となっています。今ある起業支援は、高知県の産業振興計画にのせ、過疎地域支援法で自立法、半島振興法などに基づいて取り組んでいます。起業したい人の支援は、商工会などの個別相談や高知県起業支援センターへ紹介をしています。③ふれあいパークは、本町の第一次産業の核、観光施設の核、地域振興の核、町内交通の核で、これを各部署に振り分ける考えは持っています。④ふれあいパークは、本町の第一次産業の核、観光施設の核、地域振興の核、町内交通の核で、これを各部署に振り分ける考えは持っています。⑤小学校、中学校の給食費無料化については再度検討していきたい、切れ目のない子育て支援も長いスパンをかけてどう支援を続けていくか検討していきたいと考えています。



都市機能を弘見の中心街に集中

変形労働時間制

導入の根拠は

働く時間軽減／教育長

問 教員の夏休みなどの労働時間を短くし、繁忙期1日10時間を限度に延長するこの法案の根拠は。

ば導入できない、と答弁している。大月小中教員の年休取得状況、超過勤務状況は。

濱崎教育長 年休20日のうち、小学校は平均11日、中学校は平均7日取得。超過勤務は45時間以上が小学校39・5%、中学校40%です。

問 国会では、月45時間、年間360時間以内、全員が守れなければ

月45時間、年間360時間以内は守る方向で努力していきます。



教職員の労働改善を

おおつき保育所

園児通園、防犯対応は

園児を守る方向で／教育長



高野 真司 議員

問 新保育所の園児送迎バス路線計画と、自主通園区域は。

濱崎教育長 バス通園は月灘方面、柏島、一切、平山、古満目、芳ノ沢です。自主通園は鉾土、清王と弘見区域にしています。

問 国道から新園への新設道の交通安全対応として、信号機設置、進入車線増設改良を所管機関へ要請は。

岡田町長 宿毛警察署、宿毛土木事務所との協議により、国道の交通量、右折する通園バスや保護者の送迎する車、通勤する保育士等の車両台数などの状況により今後検討していきます。

問 園児通園の交通安全と防犯対応は。

濱崎教育長 園児の送



国道からの入り口

迎バスにはチャイルドシートの設置と添乗員を配置し、安全に配慮しています。
防犯対策は、不審者の侵入等に対して門扉の開閉確認、防犯カメラを設置し注意できるようにしています。また、警備会社等によるセキュリティ対策で園児の安全を守っていきます。

新型コロナウイルス対策

対策本部の設置は

状況により対応／町長

問 新型コロナウイルスが蔓延して、国を上げて感染防止に取り組んでいるが、対策本部の設置を検討すべきではないか。

岡田町長 感染防止対策として、小中学校の臨時休校、病院、介護施設などは面会制限とし、多数が集まる集会、イベントへの参加を控えるなど感染を防ぐあらゆる対応を徹底的に行い、対策本部設置の準備は整えているので、状況により対応していきます。



コロナウイルスで休校中の小中学校

問 休校による小中学校への影響は。

濱崎教育長 授業時数が足りない科目は、4月5月を中途に消化します。休み期間は教職員が家庭訪問して生活状況を把握しています。

問 コロナウイルス予防対策で人の動きが停滞しているが、大月町の観光産業、経済活動への影響は。

岡田町長 全国的なイベントの開催や会議などの中止、延期は高知県や本町にも及んで、小中学校の休校、観光関連イベントの中止、宿泊施設へのキャンセルなどで、多方面の経済活動に影響を受けています。
国の支援が具体的に決まり次第直ちに対応していきます。

認知症対策

認知症サポーターの整備は

包括ケアシステムで対応

／町長

問 政府は、認知症施策をさらに充実するための組織、チームオレンジを市町村に整備するように予算化した。認知症の人や家族を手助けする認知症サポーターを中心に近隣でチームを組み、見守りや声掛け、話し相手、外出支援を行うチームオレンジの整備はどこまで進んでいるのか。



久米 里志 議員

岡田町長 大月町では、重度の要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていけるよう、住まい、医療介護予防、生活支援が一体的に提供され、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいます。チームオレンジは認知症の方に絞った支援で、それに対して本町では認知症高齢者の支援は、包括ケアシステムの中で行っています。

問 障がいのある方が指定の避難所に避難しても、利便性が悪く不自由なところがあるのか。

例えば、手洗いやベッドがなく、またバリアフリーになっていないところがあるので、早急に対応できないか。

岡田町長 風水害用の避難所は、改善センターと東部体育館を想定しています。バリアフリー化を行い、トイレも障がい者用を設置しました。また、令和2年度は段ボールベッドの購入とプライバシーを確保するための予算を計上していますので、住環境が整備できます。



楽しい集い

問 長期の避難になれば、障がいのある方に設備の整った町営の施設は利用できるのか。

岡田町長 デイサービスさんごは指定管理者と災害時等における設備利用の協力協定を結んでいます。今後、社会福祉協議会と協議の上、長期避難所として利用できるか考えます。

誘導灯

防災センターと避難所の誘導灯は

要望があれば検討・設置

／町長



誘導灯のない
檜西防災センター

問 防災センターや避難所、避難道に誘導灯が設置されていないところがある。早急な対応はできないか。

岡田町長 地震津波風水害の指定緊急避難所は全部で132箇所あり、整備した箇所は71箇所です。誘導灯があるのは37箇所、平成27年度に誘導灯の要請調査を行いました。

が、再度要望調査を考えると、一基設置に100万円程度かかりますので、状況を再度把握しながら担当課と協議していきます。

問 檜西防災センターと周防形消防屯所に誘導灯が設置されていない。町内全体の対応は。

岡田町長 地区からの要望があれば検討して設置します。

職場環境

一人一人の理解を 提案で対応／町長



野村 満久 議員



業務に励む職員

問 12月定例会で、機構改革はおこなわず職員の知識や経験、特性を生かした適材適所への人事異動をおこない、職員との懇談、特に若い職員の意見は重要なので、積極的に進めていきたいと答弁していますが具体的な考えは。

岡田町長 具体的に私が各部署に出向いてやったことはありませんが、世代交代がはつきりとした組織になることから、今後、遅れないうように取り組んでいます。

問 適材適所に移動させるだけでなく、やりがいや居場所づくりなどの環境づくりが大事ではないか。又、それぞれの価値観を理解し、評価、感謝する事が職務の効率化、行政の活気、町の活性につながると思うが。

岡田町長 職員は町民全体の奉仕者です。どこの部署にかわっても能力を発揮していただきたい。

職員は、職場の環境づくりをどうすればいいか提案をするなり、提案を受けたりして対応しなければならいと感じています。

ホームページ

重要な情報源

積極的にすすめたい／町長

問 ホームページでの情報発信、提供は町内外の人たちにとって重要な情報源だが、掲載が遅かったり古い情報があるままだったりしているが、どういう位置付けで考えているのか。

最も重要な情報発信ツールの一つとして考えています。

更新頻度のばらつきや、新しい情報の掲載の遅れなど有効活用できていません。

今後は、各課で作成した情報を、まちづくり推進課で取りまとめ積極的に進めたいと思っています。



編集集中の議会だより



中平 順三議員

町長の政治姿勢

出処進退は

立候補を決意／町長

問 平成25年に岡田町政が誕生し、2期目が残り一年となった。①今後の財政運営をどの様に考えているか。②新年度は、西日本豪雨災害復旧工事の最終年である。未だ、発注率が60%に満たない状況の中、新年度中に完了する見込みはあるのか。③今後の出処進退は。

岡田町長 ①財政運営は厳しくなると認識していますが、出来るものから順次取り組んでいく方針です。②2月末の発注率は84%になっており年度内に残りを発注すれば繰り越しになるものの、新年度中には完了すると思っています。③災害復旧や大型事業など、まだまだ大きな課題が山積していますので、この状況を踏まえ、次期町長選挙に立候補する決意です。

大月病院

医師不足の解消は

町独自で確保を検討／町長



早急な改修が待たれる

問 ①大月病院は、現在医師1名が不足し、過酷な労働環境にある。今後の医師不足の対策は。②経年劣化による雨漏りや耐震化等、災害対応が出来ていないと思われる。改修または改築の予定は。

岡田町長 ①医師の配置は、県の僻地医療協議会からの配置で、増

員は厳しい状況です。今後は、町独自で確保することを視野に入れている時期に来ていると思っています。②雨漏りを補修することが先決と考えています。また、災害時に対応出来る耐震補強等、総合的に検討協議に入っていると考えています。



返礼品の箱詰め作業

ふるさと納税

具体的な使い道は

7事業に充当

／まちづくり推進課長

問 ふるさと納税の具体的な使い道は。

まちづくり推進課長 新年度当初予算で、2億5880万円取崩しています。その内訳は、納税関連費用以外に集落営農支援事業、公共交通実施運行事業、関係人口創出事業、自然体験型推進事業、総合グラウンド整備事業、漁港個別計画策定事業、町有施設解体事業などに充当しています。

情報教育

プログラミング教育について 模擬授業を実施／教育長



安原 明彦議員



小学校のパソコン教室

問 4月から小学校でプログラミング教育が必修化された。情報技術に詳しくない先生、保護者にとって「何をすればいいのか」不安になっている。必修化されたプログラミング教育に対する対応はどうか。

濱崎教育長 昨年度小学校において6学年で公開模擬授業を3回実施し、県教育委員会主催のICT教育研修会にも参加をしていただき、得た情報を全教職員で共有するなど研修を重ねてきました。

問 4月にはパソコンは小中学校に一人一台になっているのか。

濱崎教育長 1人1台のタブレットは、早期に整備をします。

問 パソコンを使わずにグループワークによって進めていく授業を、教育方針に採用する教育委員会や学校が増えている。教育委員会の認識は。

濱崎教育長 小学校1・2年生では、パソコンを使わない授業を行いながら、段階に応じてコンピューター等につなげていき、3年生について、同様な活動を行いつつ、パソコンを利用していきます。

遠隔教育の導入は 時期尚早 ／教育長

問 中山間地域の小規模校の生徒に対する、教育機会の確保、多様かつ高度な教育に触れる機会の提供を狙いとする遠隔教育の導入は。

濱崎教育長 情報通信技術を活用しレベルの高い学習を行う事は、学校に特色を持たせ中山間地域の学校の支援になります。遠隔教育はよい点もありますが、施設整備と教職員のレベルアップも必要であります。まだ時期的大月町では早過ぎるのではないかと考えています。



出典：東京都総務局総合防災部

防災行動

マイタイムラインについて

防災計画の中に／町長

問 マイ・タイムラインは台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身とる防災行動を時系列に整理し、とりまとめるもの。いざというときのために、日頃から危機感を持って自らを守るマイ・タイムラインを作成・普及の啓蒙啓発活動をやるべきでは。

岡田町長 地区防災計画に要配慮の個別計画を盛り込み、地区、行政、専門家と一緒に考えて住民の安全安心に努めます。この防災計画が、マイ・タイムラインを網羅するような形で作成していきます。

議会だより100号によせて

大月町議会が発行する「議会だより」は平成7年5月1日に初版（第1号）が、その後、年間4回（5月、8月、11月、2月）発行され、今回発行の「議会だより」で100号になりました。25年間の長きに亘り



議会だより編集風景

発行することができたのも、ご愛読いただきました町内の皆様のご指導、ご支援によるものと感謝しお礼申し上げます。初代の議会だより編集委員会は6名（当時の議員定数は18名）で構成されていました。

その後、議員定数の変更があり、平成24年には10名に削減され、現在では議会広報常任委員会として5名の議員で構成されています。

今回の議会だよりは、100号記念誌として各年代の皆様の声を掲載する予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延により緊急事態宣言が発令され、あらゆる活動の自粛が要請されています。

そのため、議会だより発行にも影響を受け100号記念誌として予定していた特集は掲載を延期させていただくことになりました。これから親しみやすい議会だより発行に努めてまいりますので、よろしく願います。

皆様へのお願い（新型コロナウイルス感染防止のために）

今、日本は新型コロナウイルス感染が広まり、高知県でもお亡くなりになられた方がいます。この危機を乗り越え平穏な時を迎えるには、私たち一人一人が行動自粛するしかありません。不要不急の外出は避け、**「密閉・密集・密接」**された環境には近づかないように心掛けてください。外出の時は**マスクを着用**し、帰宅した時は**「うがい・手洗い」**を丁寧におこなってください。ウイルスに感染しないように自分の身体は自分で守ってください。

そして、私たちの大切な人に感染させないようにしてください。私たちの力で、ウイルスの感染連鎖を断ち切りましょう。

令和2年5月1日 大月町議会議員一同

新型コロナウイルス健康相談センター

（発熱・咳など体の健康、予防、医療機関の受診に関すること）

電話 088-823-9300

FAX 088-873-9941

受付時間 午前9時～午後9時まで（平日・土日祝日）

こんにちは

自然と暮らす元気な ふるさと作りを目指して

いわせ ふみひと
岩瀬 文人 さん(62歳)



NPO法人「大月地域資源活用協議会」
の岩瀬文人さんを訪ねました。

大月の海に 魅せられて

です。

平成九年、岩瀬さんが沖縄の研究所にいたとき、サンゴを守る研究所を創ってほしい、という依頼があったそうです。真っ先に頭に浮かんだのは、かつて調査に訪れたことのある大月の海だったそう

「大月の海の生きものは人が近づいても怖がらず、自然な姿を見せてくれます。こんな海は日本中探してもなかなかありません。」
岩瀬さんは平成十三年に西泊に黒潮生物研究所を創り、大月に移住しました。



海中での作業

大月の人の暮らし

大月で暮らすようになって感じたのは、人の暮らしと自然の距離の近さだそうです。都会で生まれ育った岩瀬さんにとって、自然はわざわざ出かけて「見る」ものだったといいます。しかし大月では自然の中に人の暮らしがあり、季節と共に変化する自然の中から、役に立つものを少しだけいただいて暮らす、日本人の暮らしの原点を感じたといいます。

子供達のふるさと を守りたい

岩瀬さんは、自分の子供に誇りをもって「ふるさと」と言える地域を残したいと、町内の有志と共に、海だけではない大月の素晴らしい自然や月山神社など地域の文化を活かした活動を通して、心豊かなふるさとづくりに取り組んでいます。



会議風景

(取材・山本恒和)

編集後記

生命を脅かし、奪う、新型コロナウイルスの世界的流行によって地球規模で外出が制限され、日本でも「緊急事態宣言」発令によって一層の外出自粛が要請された。政府も賢明に対策を打ち出しているが、見えないウイルスとの長期戦にあって、大月の子供たちの生活環境や家庭的、経済的にも大変な状況が続いている。一日も早い終息を祈っている。自分のため、家族のため、社会のため、そして、お互いの幸せのために感染拡大を抑制してゆこう。

(久米里志)

議会広報常任委員会

委員長 山本 恒和
副委員長 安原 明彦
委員 浦木 秀雄
委員 野村 満久
委員 久米 里志

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷
有限会社 宿毛印刷